

運用報告書 (全体版)

優先株ETFファンド (毎月分配型・ヘッジあり)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2009年12月11日から2024年12月9日までです。	
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	優先株ETFファンド (毎月分配型・ヘッジあり)	優先株ETFマザーファンド ド受益証券。
	優先株ETF マザーファンド	世界主要先進国の優先株を 投資対象とする上場投資信 託証券。
運用方法	優先株ETFおよび優先株の合計実質組入比率については、原則として高位を保ちます。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
組入制限	優先株ETFファンド (毎月分配型・ヘッジあり)	株式および上場投資信託証 券への実質投資割合には制 限を設けません。
	優先株ETF マザーファンド	株式および上場投資信託証 券への投資割合には制限を 設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1期決算時は、原則として分配を行いません。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第133期	<決算日	2021年1月7日>
第134期	<決算日	2021年2月8日>
第135期	<決算日	2021年3月8日>
第136期	<決算日	2021年4月7日>
第137期	<決算日	2021年5月7日>
第138期	<決算日	2021年6月7日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「優先株ETFファンド (毎月分配型・ヘッジあり)」は、2021年6月7日に第138期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

優先株ETFファンド（毎月分配型・ヘッジあり）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
		円	円	%	%	百万円
第19作成期	109期 (2019年1月7日)	8,174	35	1.3	88.0	1,940
	110期 (2019年2月7日)	8,320	35	2.2	92.6	1,932
	111期 (2019年3月7日)	8,445	35	1.9	96.2	1,923
	112期 (2019年4月8日)	8,486	35	0.9	96.2	1,888
	113期 (2019年5月7日)	8,405	35	△0.5	94.4	1,837
	114期 (2019年6月7日)	8,388	35	0.2	90.0	1,783
第20作成期	115期 (2019年7月8日)	8,396	35	0.5	92.5	1,763
	116期 (2019年8月7日)	8,431	35	0.8	91.1	1,765
	117期 (2019年9月9日)	8,484	35	1.0	93.6	1,750
	118期 (2019年10月7日)	8,421	35	△0.3	92.0	1,716
	119期 (2019年11月7日)	8,382	35	△0.0	94.9	1,695
	120期 (2019年12月9日)	8,264	35	△1.0	96.8	1,645
第21作成期	121期 (2020年1月7日)	8,444	35	2.6	94.2	1,673
	122期 (2020年2月7日)	8,451	35	0.5	93.1	1,605
	123期 (2020年3月9日)	8,143	35	△3.2	87.2	1,532
	124期 (2020年4月7日)	7,189	35	△11.3	92.7	1,348
	125期 (2020年5月7日)	7,757	30	8.3	91.0	1,456
	126期 (2020年6月8日)	7,997	30	3.5	93.5	1,509
第22作成期	127期 (2020年7月7日)	7,838	30	△1.6	93.8	1,448
	128期 (2020年8月7日)	8,067	30	3.3	95.3	1,447
	129期 (2020年9月7日)	8,125	30	1.1	95.0	1,424
	130期 (2020年10月7日)	8,201	30	1.3	96.9	1,403
	131期 (2020年11月9日)	8,126	30	△0.5	93.2	1,371
	132期 (2020年12月7日)	8,304	30	2.6	94.8	1,340
第23作成期	133期 (2021年1月7日)	8,242	30	△0.4	92.7	1,305
	134期 (2021年2月8日)	8,223	30	0.1	94.9	1,283
	135期 (2021年3月8日)	8,123	30	△0.9	96.3	1,253
	136期 (2021年4月7日)	8,293	30	2.5	93.5	1,276
	137期 (2021年5月7日)	8,248	30	△0.2	93.0	1,260
	138期 (2021年6月7日)	8,310	30	1.1	93.9	1,221

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

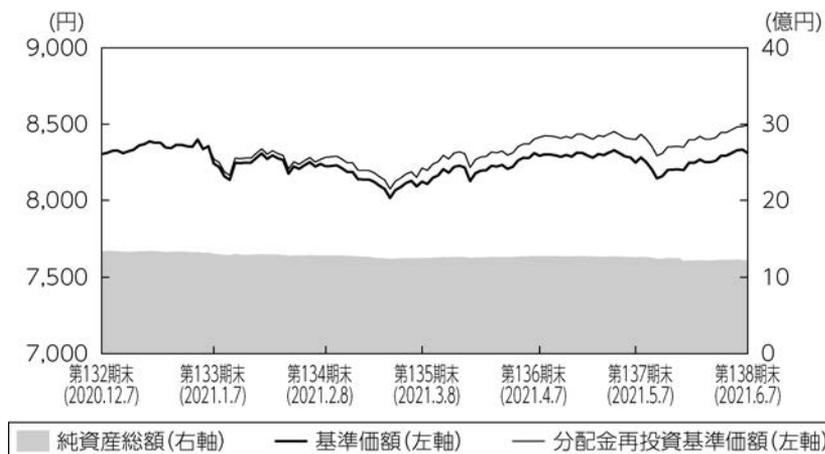
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託 受益証券、 投資証券 組入比率
			騰 落 率	
第133期	(期 首) 2020年12月7日	円 8,304	% -	% 94.8
	12月 末	8,352	0.6	92.5
	(期 末) 2021年1月7日	8,272	△0.4	92.7
第134期	(期 首) 2021年1月7日	8,242	-	92.7
	1月 末	8,223	△0.2	93.5
	(期 末) 2021年2月8日	8,253	0.1	94.9
第135期	(期 首) 2021年2月8日	8,223	-	94.9
	2月 末	8,016	△2.5	93.8
	(期 末) 2021年3月8日	8,153	△0.9	96.3
第136期	(期 首) 2021年3月8日	8,123	-	96.3
	3月 末	8,221	1.2	93.9
	(期 末) 2021年4月7日	8,323	2.5	93.5
第137期	(期 首) 2021年4月7日	8,293	-	93.5
	4月 末	8,289	△0.0	92.6
	(期 末) 2021年5月7日	8,278	△0.2	93.0
第138期	(期 首) 2021年5月7日	8,248	-	93.0
	5月 末	8,294	0.6	93.2
	(期 末) 2021年6月7日	8,340	1.1	93.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

■第133期～第138期の運用経過（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

基準価額等の推移



第133期首： 8,304円
 第138期末： 8,310円
 (既払分配金180円)
 騰落率： 2.3%
 (分配金再投資ベース)

- 純資産総額(右軸) — 基準価額(左軸) — 分配金再投資基準価額(左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、「優先株ETFマザーファンド」受益証券を通じて、主として世界主要先進国の優先株ETF（上場投資信託証券）に投資を行い、また、原則として、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指した運用を行います。よって、保有する優先株ETFの変動が、基準価額の主な変動要因となります。

投資環境

米国株式市場

作成期中の米国株式市場は上昇しました。米国の堅調な経済指標や米企業の決算が続き、経済活動再開への期待や金融緩和策の長期化観測が支えとなり、堅調に推移しました。一時米国の長期金利が上昇したことで、テクノロジーセクターを中心に株式市場全体が軟調な展開となることもありましたが、作成期間を通して株価は上昇し作成期末を迎えました。

米国債券市場

作成期中の金利は上昇しました。3月にかけて新型コロナウイルスのワクチン普及や追加経済対策により米国の景気回復が加速するとの見方や、インフレ加速観測の高まりを背景に金利は大幅上昇しました。その後は世界的な新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などから金利は低下基調となりましたが、前作成期末対比で金利は上昇して作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

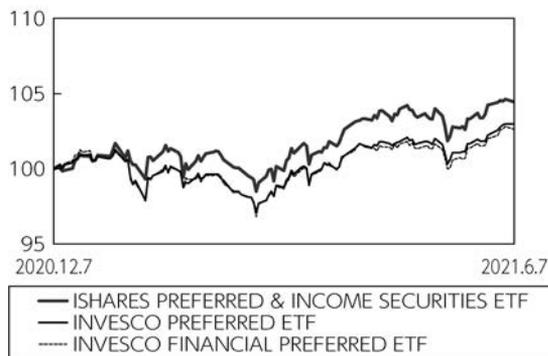
●当ファンド

「優先株ETFマザーファンド」受益証券を高位に組み入れました。また、当ファンドの実質外貨建資産相当額を、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減に努めました。

●優先株ETFマザーファンド

マザーファンドにおいては、世界主要先進国の優先株を投資対象とする優先株ETFおよび個別の優先株を主要投資対象とし、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指しました。運用に当たっては、優先株ETFおよび優先株の合計組入比率について高位を保ち、外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<各優先株ETF価額（分配金込み）の推移>



※2020.12.7を100とした指数で表示しています。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
	2020年12月8日 ~2021年1月7日	2021年1月8日 ~2021年2月8日	2021年2月9日 ~2021年3月8日	2021年3月9日 ~2021年4月7日	2021年4月8日 ~2021年5月7日	2021年5月8日 ~2021年6月7日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.36%	0.36%	0.37%	0.36%	0.36%	0.36%
当期の収益	15円	20円	21円	27円	20円	26円
当期の収益以外	14円	9円	8円	2円	9円	3円
翌期繰越分配対象額	140円	130円	121円	119円	110円	106円

(注1)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「優先株ETFマザーファンド」受益証券を通じて、主として世界主要先進国の優先株ETFに投資します。また、原則として、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。

上記の運用方針に従い、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●優先株ETFマザーファンド

主として世界主要先進国の優先株ETFに投資します。投資対象とする優先株ETFは、主として米ドル建ての上場優先株を組み入れたものとし、優先株ETFおよび優先株の合計組入比率については、原則として高位を保ちます。また、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

上記の運用方針に従い、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第133期～第138期		項目の概要
	(2020年12月8日～2021年6月7日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.548%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,246円です。
(投信会社)	(20)	(0.246)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.274)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.020	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資信託受益証券)	(2)	(0.020)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.009	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	48	0.577	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

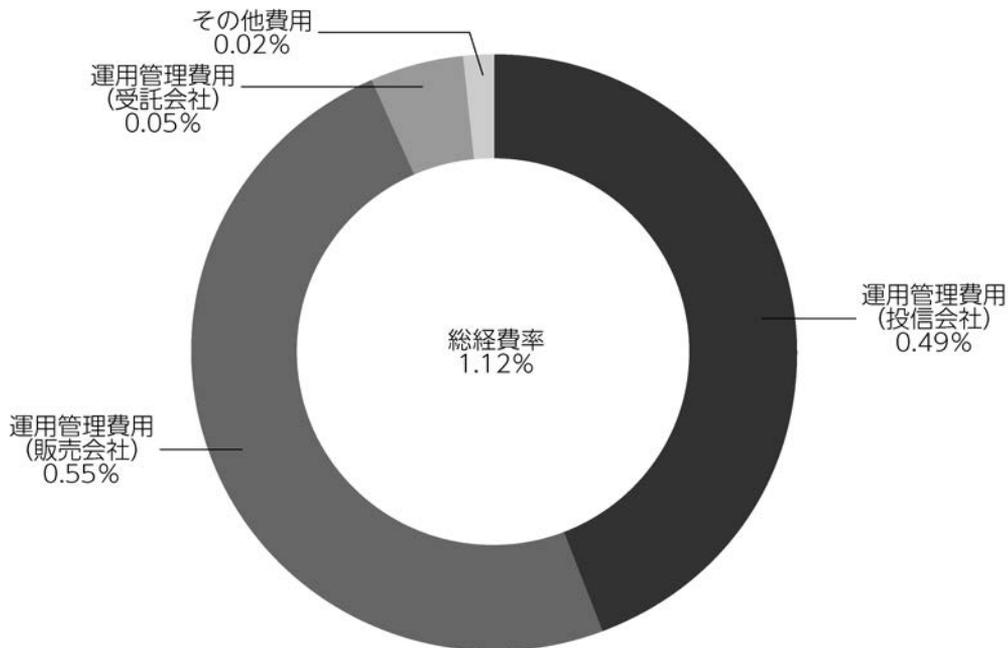
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) マザーファンドを通じて実質的に投資する上場投資信託証券の運用・管理にかかる費用は含みません。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

	第 133 期 ~ 第 138 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
優先株 E T F マザーファンド	-	-	91,336	217,000

■利害関係人との取引状況等（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第22作成期末	第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
優先株 E T F マザーファンド	554,644	463,308	1,161,885

<補足情報>

■優先株 E T F マザーファンドの組入資産の明細

下記は、優先株 E T F マザーファンド（463,308,550□）の内容です。

外国投資信託受益証券、投資証券

銘 柄	2020年12月7日現在		2021年6月7日現在		
	□ 数	□ 数	外貨建金額	邦貨換算金額	比 率
(アメリカ)	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	%
ISHARES PREFERRED & INCOME SECURITIES ETF	107,969	89,726	3,484	381,846	32.9
INVESCO FINANCIAL PREFERRED ETF	212,332	182,792	3,498	383,345	33.0
INVESCO PREFERRED ETF	269,423	229,374	3,486	382,014	32.9
合 計	□ 数 ・ 金 額	589,724	501,892	1,147,206	-
	銘 柄 数 < 比 率 >	3銘柄<99.3%>	3銘柄<98.7%>	-	98.7

(注1) 邦貨換算金額は、2021年6月7日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、2021年6月7日現在のマザーファンド純資産総額に対する投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2021年6月7日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
優 先 株 E T F マ ザ ー フ ァ ン ド	1,161,885	93.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	77,835	6.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,239,720	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の優先株ETFマザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,151,695千円、99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年6月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.57円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月7日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月7日)、(2021年5月7日)、(2021年6月7日)現在

項 目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
(A) 資 産	2,536,751,490円	2,515,895,598円	2,461,813,249円	2,456,766,383円	2,434,128,491円	2,363,970,509円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	89,944,033	86,922,063	73,531,992	90,211,610	84,570,619	77,835,178
優 先 株 E T F マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	1,218,754,827	1,227,957,095	1,214,770,387	1,202,701,863	1,194,757,162	1,161,885,181
未 収 入 金	1,228,052,630	1,201,016,440	1,173,510,870	1,163,852,910	1,154,800,710	1,124,250,150
(B) 負 債	1,231,556,962	1,231,967,927	1,208,314,237	1,180,508,256	1,173,427,615	1,142,814,806
未 払 金	1,225,224,000	1,224,032,000	1,202,574,000	1,174,745,510	1,167,687,790	1,128,334,100
未 払 収 益 分 配 金	4,750,609	4,684,020	4,629,253	4,616,923	4,585,613	4,408,451
未 払 解 約 金	331,629	1,999,999	41,703	-	204	8,914,242
未 払 信 託 報 酬	1,246,753	1,247,932	1,065,883	1,142,187	1,150,338	1,154,338
そ の 他 未 払 費 用	3,971	3,976	3,398	3,636	3,670	3,675
(C) 純資産総額(A-B)	1,305,194,528	1,283,927,671	1,253,499,012	1,276,258,127	1,260,700,876	1,221,155,703
元 本	1,583,536,354	1,561,340,292	1,543,084,609	1,538,974,584	1,528,537,699	1,469,483,738
次 期 繰 越 損 益 金	△278,341,826	△277,412,621	△289,585,597	△262,716,457	△267,836,823	△248,328,035
(D) 受 益 権 総 口 数	1,583,536,354口	1,561,340,292口	1,543,084,609口	1,538,974,584口	1,528,537,699口	1,469,483,738口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,242円	8,223円	8,123円	8,293円	8,248円	8,310円

(注) 第132期末における元本額は1,613,855,373円、当作成期間(第133期~第138期)中における追加設定元本額は22,684,383円、同解約元本額は167,056,018円です。

■損益の状況

(自 2020年12月8日 至 2021年1月7日) (自 2021年1月8日 至 2021年2月8日) (自 2021年2月9日 至 2021年3月8日) (自 2021年3月9日 至 2021年4月7日) (自 2021年4月8日 至 2021年5月7日) (自 2021年5月8日 至 2021年6月7日)

項 目	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期	第 138 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,670円	△998円	△899円	△1,064円	△780円	△1,175円
受 取 利 息	12	6	4	1	3	15
支 払 利 息	△1,682	△1,004	△903	△1,065	△783	△1,190
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,767,758	2,966,765	△9,699,948	31,833,137	△1,161,370	14,716,940
売 買 益	11,813,872	33,203,278	45,441,232	76,994,606	19,670,421	32,345,000
売 買 損	△15,581,630	△30,236,513	△55,141,180	△45,161,469	△20,831,791	△17,628,060
(C) 信 託 報 酬 等	△1,250,724	△1,251,908	△1,069,281	△1,145,823	△1,154,008	△1,158,013
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△5,020,152	1,713,859	△10,770,128	30,686,250	△2,316,158	13,557,752
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△119,763,209	△125,112,054	△124,821,035	△138,149,233	△110,791,402	△111,476,995
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△148,807,856	△149,330,406	△149,365,181	△150,636,551	△150,143,650	△146,000,341
(配 当 等 相 当 額)	(24,504,568)	(21,888,407)	(20,143,986)	(18,762,466)	(18,326,042)	(16,239,460)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△173,312,424)	(△171,218,813)	(△169,509,167)	(△169,399,017)	(△168,469,692)	(△162,239,801)
(G) 合 計 (D + E + F)	△273,591,217	△272,728,601	△284,956,344	△258,099,534	△263,251,210	△243,919,584
(H) 収 益 分 配 金	△4,750,609	△4,684,020	△4,629,253	△4,616,923	△4,585,613	△4,408,451
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△278,341,826	△277,412,621	△289,585,597	△262,716,457	△267,836,823	△248,328,035
追 加 信 託 差 損 益 金	△151,121,266	△150,843,912	△150,702,402	△150,955,056	△151,582,778	△146,550,328
(配 当 等 相 当 額)	(22,199,580)	(20,382,297)	(18,812,575)	(18,451,169)	(16,892,078)	(15,695,388)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△173,320,846)	(△171,226,209)	(△169,514,977)	(△169,406,225)	(△168,474,856)	(△162,245,716)
繰 越 損 益 金	△127,220,560	△126,568,709	△138,883,195	△111,761,401	△116,254,045	△101,777,707

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期	第 138 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,437,199円	3,170,514円	3,292,032円	4,298,418円	3,146,485円	3,858,464円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	24,512,990	21,895,803	20,149,796	18,769,674	18,331,206	16,245,375
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	0	0	0	0	0
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	26,950,189	25,066,317	23,441,828	23,068,092	21,477,691	20,103,839
(f) 1万口当たり当期分配対象額	170.19	160.54	151.92	149.89	140.51	136.81
(g) 分 配 金	4,750,609	4,684,020	4,629,253	4,616,923	4,585,613	4,408,451
(h) 1万口当たり分配金	30	30	30	30	30	30

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期	第 138 期
1 万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

優先株 E T F マザーファンド

運用報告書

第11期 (決算日 2020年12月7日)
(計算期間 2019年12月10日～2020年12月7日)

優先株 E T F マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	原則、無期限です。
運 用 方 針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	世界主要先進国の優先株を投資対象とする上場投資信託証券。
主 な 組 入 制 限	株式および上場投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券、 投 資 証 券 組 入 比 率	純資産 総 額
	円	期 中 騰 落 率		
7 期 (2016年12月 7 日)	19,953	△6.7	95.7	845
8 期 (2017年12月 7 日)	21,671	8.6	98.9	3,619
9 期 (2018年12月 7 日)	20,680	△4.6	98.2	1,885
10期 (2019年12月 9 日)	22,378	8.2	98.9	1,609
11期 (2020年12月 7 日)	23,080	3.1	99.3	1,280

(注1) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

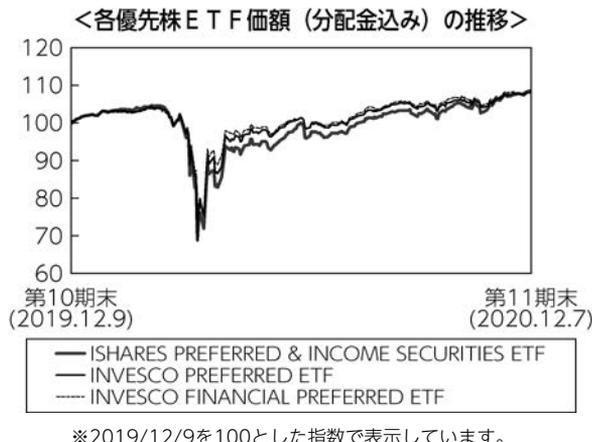
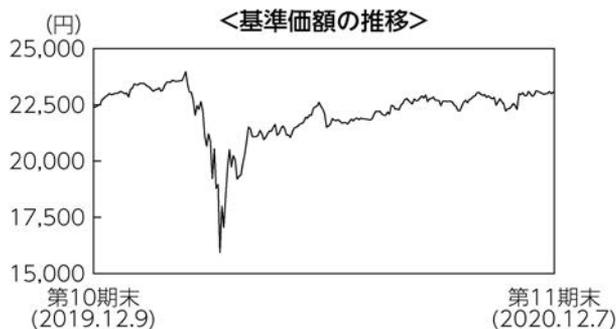
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券、 投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2019 年 12 月 9 日	22,378	-	98.9
12 月 末	23,046	3.0	99.4
2020 年 1 月 末	23,253	3.9	99.1
2 月 末	22,670	1.3	98.6
3 月 末	20,240	△9.6	98.0
4 月 末	21,501	△3.9	97.7
5 月 末	21,906	△2.1	99.2
6 月 末	21,759	△2.8	98.8
7 月 末	22,084	△1.3	98.4
8 月 末	22,644	1.2	99.5
9 月 末	22,705	1.5	99.1
10 月 末	22,312	△0.3	99.4
11 月 末	22,971	2.6	99.4
(期 末)			
2020 年 12 月 7 日	23,080	3.1	99.3

(注) 騰落率は期首比です。

■当期の運用経過（2019年12月10日から2020年12月7日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は23,080円となり、前期末比で3.1%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界主要先進国の優先株を投資対象とする優先株ETF（上場投資信託証券）および個別の優先株を主要投資対象とし、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。よって、優先株ETFの変動と為替の変動が、基準価額の主な変動要因となります。当期は、為替相場が円高米ドル安で推移したものの、米国債券金利が急低下し、米国株式市場が期を通じて上昇したことから、優先株ETFが安定的に推移し、期中の基準価額は上昇となりました。

投資環境

米国株式市場

期中の米国株式市場は上昇しました。2020年2～3月に新型コロナウイルスの感染拡大を受けて大幅に下落したものの、夏場にかけては、経済活動再開への期待や金融緩和策の長期化観測が支えとなり、反発して堅調に推移しました。9月以降は、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことや米国の大統領選挙を控えてリスク回避的な動きも見られましたが、11月以降は再び反発色を強め、ワクチン開発への期待などを受けてリスク選好の動きが主導し、株価は上昇して期末を迎えました。

米国債券市場

期中の金利は低下しました。2020年2～3月に世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気への下押し懸念や、リスク回避姿勢などから、急低下しました。7月までは米金融緩和の長期化観測、米景気の先行き不透明感などを背景にさらに低下しました。一方その後は、米経済指標の改善や、米国債の需給悪化懸念などから上昇しました。11月以降は新型コロナウイルスのワクチン開発や大規模景気刺激策への期待を受けて一段と上昇して、期を終えました。

為替市場

為替市場は円高米ドル安の展開となりました。期前半は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて円高米ドル安が進みました。期後半は、世界中の感染再拡大による景気の先行き不透明感や米国の金融緩和の長期化観測などを背景に、米国金利の低下を受けて米ドルが主要通貨に対して下落しました。2020年10月以降は米追加経済対策への不透明感や、米感染拡大に伴う景気の先行き懸念から下落幅が拡大しました。

ポートフォリオについて

当ファンドは、世界主要先進国の優先株を投資対象とする優先株 E T F および個別の優先株を主要投資対象とし、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指しました。運用に当たっては、優先株 E T F および優先株の合計組入比率について高位を保ち、外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

今後の運用方針

引き続き、世界主要先進国の優先株を投資対象とする優先株 E T F および個別の優先株を主要投資対象とし、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指し、運用を行います。運用に当たっては、優先株 E T F および優先株の合計組入比率について原則高位を保ち、外貨建資産については原則為替ヘッジを行いません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	5円 (5)	0.022% (0.022)	(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	8	0.035	
期中の平均基準価額は22,201円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2019年12月10日から2020年12月7日まで)

投資信託受益証券、投資証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
ISHARES PREFERRED & INCOME SECURITIES ETF	—	—	27.331	1,025
	(—)	(—)	(—)	(—)
INVESCO FINANCIAL PREFERRED ETF	—	—	37.068	701
	(—)	(—)	(—)	(—)
INVESCO PREFERRED ETF	—	—	73.677	1,104
	(—)	(—)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年12月10日から2020年12月7日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

外国投資信託受益証券、投資証券

銘柄	期首(前期末)	当期				末
		□ 数	□ 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	%	
ISHARES PREFERRED & INCOME SECURITIES ETF	135.3	107.969	4,085	425,223	33.2	
INVESCO FINANCIAL PREFERRED ETF	249.4	212.332	4,051	421,658	32.9	
INVESCO PREFERRED ETF	343.1	269.423	4,073	423,988	33.1	
合 計	□ 数 ・ 金 額	727.8	589.724	—	1,270,870	—
	銘 柄 数 < 比 率 >	3銘柄<98.9%>	3銘柄<99.3%>	—	—	99.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2020年12月7日現在

項 目	当期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
投資信託受益証券、投資証券	1,270,870	99.3	
コール・ローン等、その他	9,248	0.7	
投資信託財産総額	1,280,119	100.0	

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,275,555千円、99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年12月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=104.08円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年12月7日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,280,119,578円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,751,338
投 資 信 託 受 益 証 券 (評 価 額)	1,270,870,639
未 収 配 当 金	1,497,601
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,280,119,578
元 本	554,644,836
次 期 繰 越 損 益 金	725,474,742
(D) 受 益 権 総 口 数	554,644,836口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	23,080円

(注1) 期首元本額	719,388,577円
追加設定元本額	0円
一部解約元本額	164,743,741円
(注2) 期末における元本の内訳	
優先株ETFファンド(毎月分配型・ヘッジあり)	554,644,836円
期末元本合計	554,644,836円

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	64,448,023円
受 取 配 当 金	64,451,317
支 払 利 息	△3,294
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△17,015,101
売 買 益	40,492,953
売 買 損	△57,508,054
(C) そ の 他 費 用	△172,583
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	47,260,339
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	890,470,662
(F) 解 約 差 損 益 金	△212,256,259
(G) 合 計 (D + E + F)	725,474,742
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	725,474,742

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。